

「釧路湿原自然再生協議会」

第2回 土砂流入・水循環小委員会

資 料

令和8年2月20日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

「釧路湿原自然再生協議会」

－第2回 土砂流入・水循環小委員会－

日時：令和8年2月20日（金）10:00～15:00

場所：KKSコンベンションセンター 3階 研修室1・2

議事次第

1. 開会

2. 議事

- 2.1 久著呂川流域における土砂流入対策について
- 2.2 久著呂川流域における土砂流入対策の効果・成果と課題について
- 2.3 湿原全域に対する事業効果の検討について
- 2.4 雪裡地区の自然再生検討について
- 2.5 全体構想見直しに係る各取組の点検・評価について

3. その他

4. 閉会

配 布 資 料

- ・ 第2回 土砂流入・水循環小委員会 説明資料 (資料1)
- ・ 出席者名簿 (資料2)
- ・ 座席図 (資料3)
- ・ 第1回 土砂流入・水循環小委員会 ニュースレター
- ・ 釧路湿原の未来を考えてみよう (気候変動パンフレット)

資 料 目 次

2.1 久著呂川流域における土砂流入対策について……………	1
2.2 久著呂川流域における土砂流入対策の効果・成果と課題について……………	42
2.3 湿原全域に対する事業効果の検討について……………	77
2.4 雪裡地区の自然再生検討について……………	94
2.5 全体構想見直しに係る各取組の点検・評価について……………	114

釧路湿原自然再生協議会
第12期（後期）の協議会委員募集結果

■新規登録【第2回土砂流入・水循環小委員会】（3個人、1団体）

個人（3名）

（敬称略、五十音順）

区分	氏名	所属
個人	伊藤 毅	上智大学
個人	大屋 祐太	北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部
個人	平賀 優介	東北大学大学院 工学研究科 助教

団体（1団体）

（敬称略、五十音順）

区分	団体/機関名	代表者名
団体	環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）	大原 雅

土砂流入・水循環小委員会 委員名簿

計：65名

■個人（34名）

（敬称略、五十音順）

No	氏名	所属
	1 井上 京	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事
☆	2 伊藤 毅	上智大学
	3 岩崎 理樹	北海道大学大学院 工学研究院 准教授
☆	4 大屋 祐太	北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部
	5 岡田 操	(株)水エリサーチ 取締役
	6 木塚 俊和	北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所
	7 木附 晃実	九州大学 基幹教育院共創学部 准教授
	8 黒田 寛	
	9 坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社 北海道営業所
	10 櫻井 一隆	
	11 貞國 利夫	釧路市立博物館
	12 清水 康行	北海学園大学 工学部 特任教授
	13 新庄 興	
	14 杉澤 拓男	
	15 関 基	エイト日本技術開発 防災保全事業部
	16 竹中 康進	環境省
	17 中津川 誠	室蘭工業大学大学院 工学研究科 暮らし環境系領域 教授
	18 中村 太士	北海道大学 大学院農学研究院 名誉教授
	19 野本 和宏	釧路市立博物館
	20 橋本 敏彦	
	21 早川 博	北見工業大学 工学部社会環境工学科 特任教授
	22 日野 彰	
☆	23 平賀 優介	東北大学大学院 工学研究科 助教
	24 平間 清	(有)平間ファーム
	25 福田 兼三	釧路自然保護協会
	26 福田 貴志	釧路自然保護協会
	27 藤岡 悠一郎	九州大学 基幹教育院共創学部 准教授
	28 松橋 尚文	釧路自然保護協会
	29 松本 文雄	
	30 山田 朋人	北海道大学大学院 工学研究院 教授
	31 山本 太郎	一般財団法人 北海道河川財団
	32 吉中 厚裕	酪農学園大学 環境共生学類
	33 渡辺 剛弘	上智大学
	34 渡部 哲史	九州大学

☆：新規委員

■団体（21団体）

（敬称略、五十音順）

No	団体/機関名	代表者名
☆	1 環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）	大原 雅
	2 釧路川水質保全協議会	会長 岡本 満幸
	3 釧路川流域町村観光推進協議会	会長 橋口 春樹
	4 釧路国際ウェットランドセンター	理事長 鶴間 秀典
	5 釧路自然保護協会	会長 神田 房行
	6 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
	7 釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 鶴間 秀典
	8 公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
	9 公益財団法人 北海道環境財団	理事長 大原 雅
	10 国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 寒地河川チーム	上席研究員 堀田 伸之
	11 国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 横山 洋
	12 国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 資源保全チーム	上席研究員 中山 博敬
	13 さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
	14 標茶西地区農地・水保全隊	隊長 佐久間 三男
	15 鶴居排水路維持管理組合	手塚 信幸
	16 塘路ネイチャーセンター	齋藤 テディ
	17 特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
	18 特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
	19 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
	20 特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
	21 北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 齋藤 テディ

☆：新規委員

■オブザーバー（3団体）

（敬称略）

No	団体/機関名	代表者名
1	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 鈴木 重充
2	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 千葉 喜好
3	阿寒農業協同組合	代表理事組合長 大畑 成市

■関係行政機関（7機関）

（敬称略）

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 畑山 朗
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 岡野 隆宏
3	北海道 釧路総合振興局	局長 寺田 宏
	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部	副局長 今井 健
4	釧路市	市長 鶴間 秀典
5	釧路町	町長 小松 茂
6	標茶町	町長 佐藤 吉彦
7	鶴居村	村長 大石 正行

第1回土砂流入・水循環小委員会の発言概要と検討方針

項目	意見	対応方針
河道の安定化対策	水文量との関係性を分析し、トレンド的に水文量に関わらず減っているのか、対策効果で減っているのかを分析すべき。	年総流量と土砂生産量の関係など、水文量と土砂生産量の関係について整理し報告を行う（釧路建管）。
水辺林・緩衝帯	土砂量及び栄養塩などに関する調査計画の際に寒地土木研究所等に相談し、意見を聞いた方が良いのではないか。	調査計画を立案する段階で寒地土木研究所に相談している。試験的な調査を行い、課題を整理する（釧路建管）。
湿原全体への影響評価方法の検討	計算条件を明示してほしい。また、全体で見ると再現性が高いように見えるが、個別の地区を見ると再現されていないことも考えられる。このモデルを今後どのように活用する予定か、意図を明確にしてほしい。	計算条件、計算結果については、分かりやすく整理していく予定である。検討結果は、今後、出水や土砂流入による影響、気候変動による影響の評価に使用していく。また、その検討結果を踏まえ、生態系再生小委員会との連携も推進する予定としている。（釧路開建）。
総合討論	気候変動への適応策を講じる場合、そのゴール、つまり回復目標の設定について、ラムサール条約登録以前の状態を目指すという従来のゴールで良いのか、改めて議論する必要があるのではないか？	現在、自然再生全体構想の見直し時期を迎えている。気候変動への適応については、協議会全体で議論し、合意形成を進めていく必要がある。